

北海道港湾の整備促進のための

要 望 書

令和6年6月

北 海 道 港 湾 協 会

はじめに

四方を海に囲まれた北海道においては、国内の物流の92%、海外との物流のほとんどを海上輸送に依存しており、港湾は極めて重要な社会資本です。特に、この世界情勢が不安定な状況では、食料安全保障上、農産品や水産品の一大供給基地である北海道の食料供給力を向上させるための港湾整備が必要となっています。

また、北海道沿岸でも気候変動等による海面上昇や波高増大が観測されており、カーボンニュートラルの取り組みを強力に進める必要があります。北海道の港湾は、洋上風力発電等の再生可能エネルギー発電の拠点として、その推進に向けた港湾機能の強化が重要となっています。さらに、防波堤を利用したブルーカーボンによるCO₂の貯留といった新たな取組も始まっています。

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等への対応も「待ったなし」の状況です。港湾や海岸における津波浸水対策とともに、災害発生後の緊急物資の受け入れを確保する耐震強化岸壁の整備や既存港湾施設の老朽化対策等、国土強靱化の取組が必要です。

この他にも、コロナ禍以降、回復傾向にあるクルーズ船の寄港をより一層増加させるためにも安心してクルーズを楽しめる環境づくりを進める必要があります。

このように、北海道の港湾整備は、令和6年度からスタートした第9期北海道総合開発計画の目標である食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道、生産空間の維持・発展と強靱な国土づくりにおいて極めて重要です。さらに、令和6年4月に総合的な防衛体制の強化に資する公共インフラの運用・整備方針において、道内5港湾が特定利用港湾として公表されました。特定利用港湾はもちろんのこと、北海道内の全ての港湾整備が重要であると考えておりますので、令和7年度予算におきましては、全国の港湾整備予算はもとより北海道の港湾整備予算全体の増額について特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 地域の基幹産業の競争力強化

役割

- ・ 北海道の港湾には食料品等の各種製造業、自動車関連産業、エネルギー産業など地域の基幹産業が集積し、港湾を通じた原材料の調達と製品の出荷や港湾整備による民間投資の誘発等を通じて、雇用と経済を支え、国民生活の向上に寄与しています。
- ・ 「食」の一大供給基地である北海道の農水産物等は、フェリー等の船舶によって全国に輸送されています。トラックドライバーの2024年問題も踏まえ、産地に近い港湾の利用要請が増しています。

要望

- ・ 農水産品や鉱産品等のサプライチェーンの効率化や強靱化、公共埠頭の混雑緩和や物流効率化を進めるため、複合一貫輸送ターミナルや大水深岸壁の整備促進等、国際・国内物流の機能強化をお願い申し上げます。
- ・ 船舶の安全な入出港を確保するため、港内静穏度の向上に資する防波堤の延伸・改良や航路・泊地の浚渫等の整備促進をお願い申し上げます。

<対象港：苫小牧港、函館港、小樽港、十勝港、石狩湾新港、宗谷港、浦河港、白老港、瀬棚港、天塩港 等>

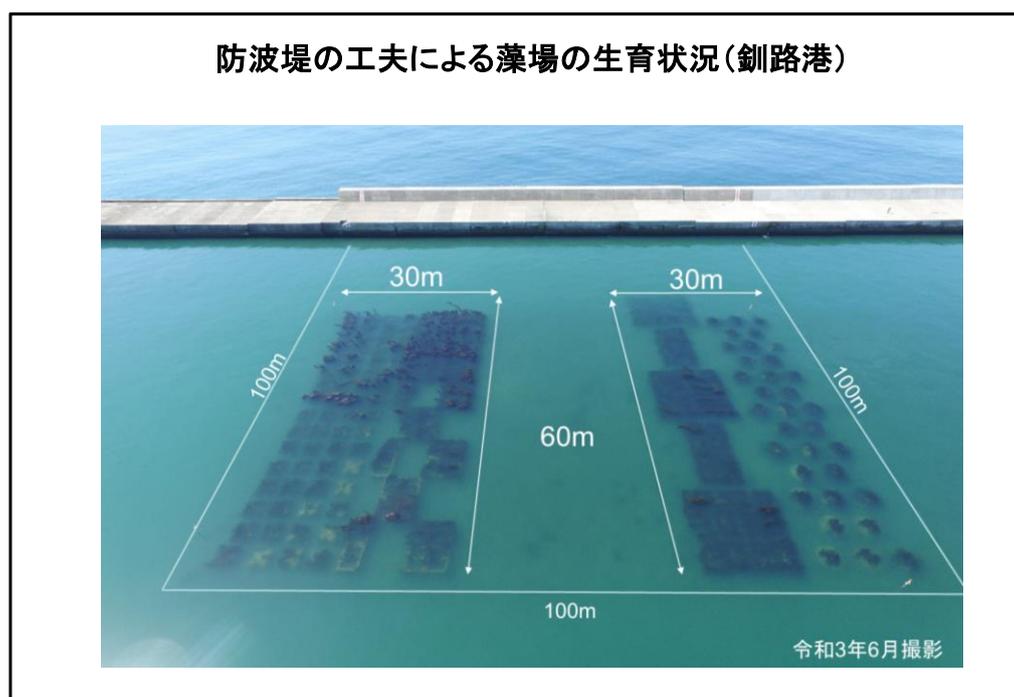
2. カーボンニュートラルの推進

役割

- ・ 北海道は風況や地域資源を利用した再生可能エネルギーや広大な藻場等の吸収源を最大限活用することにより、2050年までに「ゼロカーボン北海道」を目指すこととしており、その拠点となる港湾が大きな役割を担います。
- ・ 特に、北海道の洋上風力発電の政府の導入目標は全国の約3分の1を占める約1,500万kWと示され、洋上風力関連産業の新規立地等が進んでいます。令和5年5月には再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定に向けた「有望な区域」として北海道の5区域が指定されたところであり、導入目標の実現に向けた港湾機能の強化が必要となります。
- ・ また、釧路港島防波堤における海藻等による単位面積あたりのCO₂貯留量は森林の2.4倍と推計されています。また、えりも港や鴛泊港ではコンブ等によるCO₂貯留量がJブルークレジットとして認証されるなど、新たな港湾の役割も期待されるところです。

要望

- ・ 再生可能エネルギーの導入等に向け、洋上風力発電の基地港湾の指定とともに、大型船による輸送効率化を図るための航路・泊地の浚渫やブルーカーボン生態系の創出にも資する防波堤等の整備促進をお願い申し上げます。
<対象港：室蘭港、釧路港、稚内港、石狩湾新港 等>



3. 防災・減災、国土強靱化の推進

役割

- ・ 多くの港湾で年最大波高が増加の傾向を示しており、気象変動による影響等から港湾や背後市街地に被害が生じております。
- ・ さらに、切迫する日本海溝・千島海溝沿いの海溝型地震等の大規模災害に備えるため、港湾や港湾海岸の防災・減災、国土強靱化が必要です。

要望

- ・ 地震・津波や高潮・高波等に対して、人命の防護や資産被害の軽減を図る港湾施設及び港湾の海岸保全施設等の整備促進をお願い申し上げます。
- ・ 近年の災害の頻発化及び激甚化等に備え、更なる国土強靱化を図るために、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算の確保をお願い申し上げます。

<対象港：苫小牧港、留萌港、網走港、増毛港、樞法華港 等>



4. 農水産物・食品の輸出促進

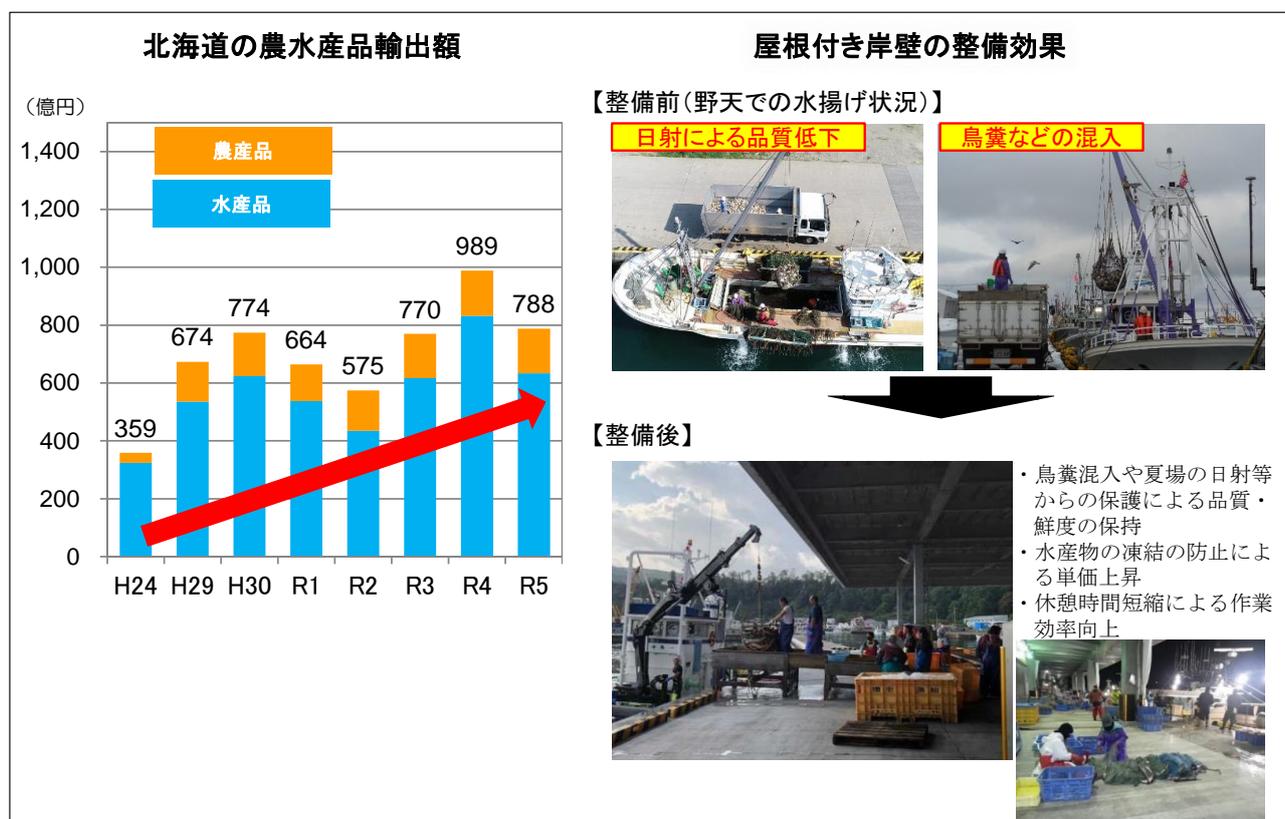
役割

- 令和4年の北海道の農水産物・食品の輸出額は989億円に達し、この10年間で約3倍に拡大しています。
- 一方、中国による日本産水産物の禁輸措置等の影響により、令和5年8月の北海道から中国への魚介類・同調製品の輸出額は前年同月比3割まで大きく落ち込み、今後、輸出国の拡大等に向けて、衛生管理の充実を図る必要があります。

要望

- 農水産物の輸出増加を図るため、水産物の品質・衛生管理機能の強化に資する屋根付き岸壁や臨港道路等の整備促進をお願い申し上げます。

<対象港：根室港、枝幸港、森港>



5. クルーズ観光の推進

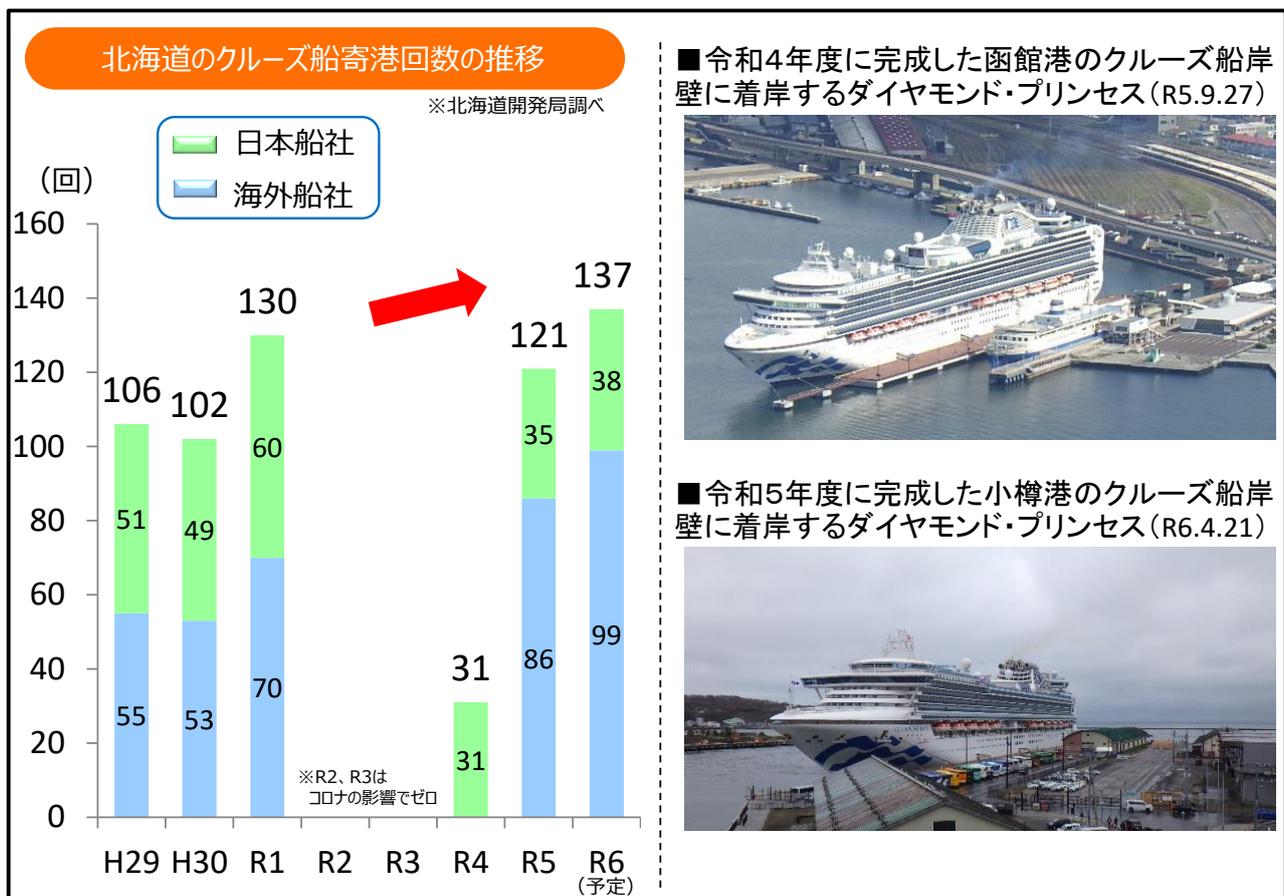
役割

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により寄港のキャンセルが相次ぎましたが、令和5年3月から国際クルーズ船の寄港も再開し、令和6年は北海道におけるクルーズ船の寄港数が137回とコロナ禍前を超える見込みです。
- ・民族共生象徴空間（ウポポイ）などの魅力的な道内各地の観光地への誘客促進はもちろんのこと、道産食材のクルーズ船への提供、内陸部も含めた広域に及ぶ寄港地観光等、新たな港湾の役割も期待されています。

要望

- ・既存ストックを活用した大型クルーズ船の受入環境の改善に必要な整備の促進とともに、寄港地観光資源の充実に向けた支援をお願い申し上げます。

<対象港：室蘭港>



6. 有人国境離島の住民生活の安定・安全の確保

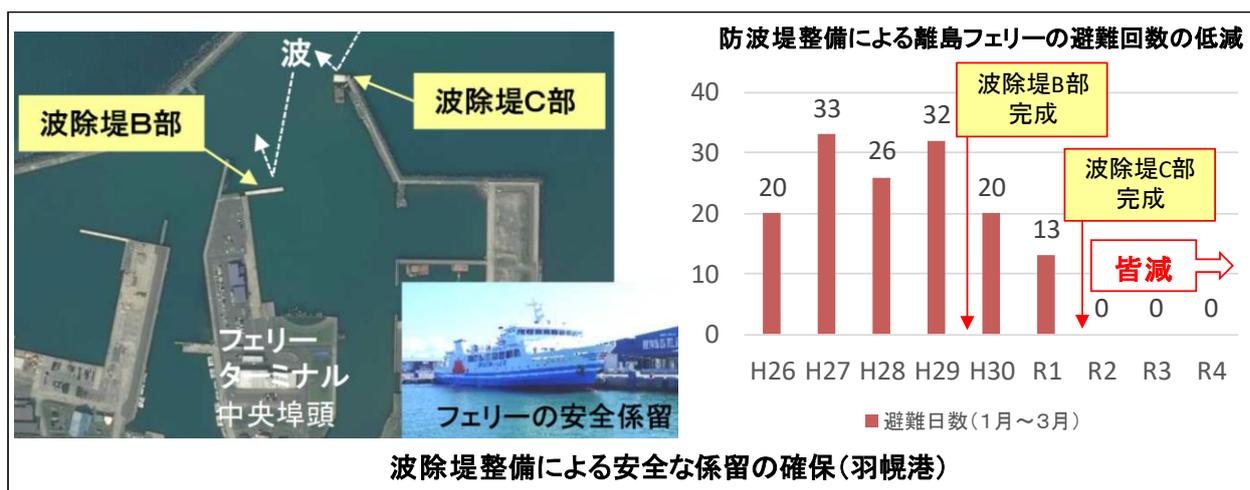
役割

- ・ 有人国境離島法に基づき、利尻・礼文、奥尻島は特定有人国境離島地域、天売・焼尻は有人国境離島地域に指定されております。こうした離島地域は、漁業、海洋調査や低潮線保全区域の監視等、領海の保全等に関する活動の拠点として重要な役割を果たしています。

要望

- ・ 離島における安定的な住民生活の維持とともに、人流・物流・産業の活発化を通じた地域活性化を図るため、離島の生命線であるフェリーの利用岸壁の静穏度対策や港湾施設の老朽化対策等の推進をお願い申し上げます。

<対象港：江差港、奥尻港、羽幌港、鴛泊港、杓形港、香深港>



7. 港湾施設の老朽化対策の推進

要望

- ・ 港湾が引き続き地域の産業や住民生活を支えるため、港湾施設の老朽化対策の推進をお願い申し上げます。

<対象港：釧路港、紋別港、えりも港、岩内港 等>

8. 社会資本整備総合交付金（港湾、港湾海岸）等の予算の確保

要望

- ・港湾管理者が実施する大型岸壁と接続する主要なアクセス道路の改良・補修、港湾の防災機能強化や海岸保全施設などの整備促進に必要な社会資本整備総合交付金とともに、港湾及び海岸の集中的かつ計画的な老朽化対策に必要なメンテナンス事業や民間事業者が実施する旅客ターミナル改修の予算の確保をお願い申し上げます。

<対象港：苫小牧港、釧路港、紋別港海岸 等>

9. 現状の特例制度や組織体制の存続・強化

要望

- ・今後とも北海道の資源・特徴を活かし、我が国が直面する国の課題の解決への貢献と地域の活力ある発展のため、予算の一括計上とともに、北海道の港湾整備に関する特例制度等、現状の北海道港湾の整備体制の存続・堅持をお願い申し上げます。
- ・さらに、北海道の港湾は基礎自治体が主に港湾管理者となっており、港湾を専門とする技術職員が確保できない状況です。港湾施設の点検や工事の安全対策等について、北海道開発局と連携して進めているところであり、北海道開発局の更なる人員確保等、体制の強化をお願い申し上げます。
- ・また、北海道の港湾の背後圏が広大であることなどから、地方港湾についても地域の産業を支える重要な役割を果たしており、防災・減災、国土強靱化の推進や生産空間の維持・発展のため、地方港湾の必要な予算の確保をお願い申し上げます。

10. 総合的な防衛体制の強化に資する公共インフラ整備の取組を踏まえた予算確保の要望

要望

- ・ 令和6年4月1日、総合的な防衛体制の強化に資する公共インフラの運用・整備方針において、道内5港湾が特定利用港湾として公表されました。
- ・ 同方針においては、『国土交通省は、「特定利用空港・港湾」においては、民生利用を主としつつ、自衛隊・海上保安庁の航空機・船舶の円滑な利用にも資するよう、自衛隊・海上保安庁のニーズも考慮して、必要な整備又は既存事業の促進を図る。』とされておりますので、特定利用港湾の整備促進のため、必要な予算確保をお願い申し上げます。
- ・ なお、特定利用港湾に限らず、北海道内の全ての港湾整備が非常に重要ですので、北海道内の全ての港湾の整備促進のため、北海道の港湾整備予算全体の増額について特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

北海道港湾協会

特別顧問

衆議院議員 伊東良孝

国際拠点港湾・重要港湾

地方港湾

室蘭港湾管理者 青山 剛 (副会長)
(室蘭市長)
苫小牧港湾管理者 岩倉 博文
(苫小牧市長)
函館港湾管理者 大泉 潤
(函館市長)
小樽港湾管理者 迫 俊哉
(小樽市長)
釧路港湾管理者 蝦名大也 (会長)
(釧路市長)
留萌港湾管理者 中西 俊司
(留萌市長)
稚内港湾管理者 工藤 広 (副会長)
(稚内市長)
十勝港湾管理者 田中 靖章
(広尾町長)
石狩湾新港港湾管理者 鈴木 直道
(北海道知事)
紋別港湾管理者 宮川 良一 (副会長)
(紋別市長)
網走港湾管理者 水谷 洋一
(網走市長)
根室港湾管理者 石垣 雅敏
(根室市長)

宗谷港湾管理者 工藤 広
(稚内市長)
枝幸港湾管理者 村上 守継
(枝幸町長)
霧多布港湾管理者 齊藤 清隆
(浜中町長)
えりも港湾管理者 大西 正紀
(えりも町長)
浦河港湾管理者 池田 拓
(浦河町長)
白老港湾管理者 大塩 英男
(白老町長)
森港港湾管理者 岡嶋 康輔
(森町長)
樞法華港港湾管理者 大泉 潤
(函館市長)
松前港湾管理者 若佐 智弘
(松前町長)
江差港湾管理者 照井 誉之介
(江差町長)
奥尻港湾管理者 新村 卓実
(奥尻町長)
瀬棚港湾管理者 高橋 貞光
(せたな町長)
石狩港湾管理者 加藤 龍幸
(石狩市長)
岩内港湾管理者 木村 清彦
(岩内町長)
余市港湾管理者 齊藤 啓輔
(余市町長)
増毛港湾管理者 堀 雅志
(増毛町長)
羽幌・焼尻・天売港
港湾管理者(羽幌町長) 森 淳
天塩港湾管理者 吉田 忠
(天塩町長)
鷺泊港湾管理者 田村 祥三
(利尻富士町長)
杓形港湾管理者 上遠野 浩志
(利尻町長)
香深港湾管理者 小野 徹 (副会長)
(礼文町長)

令和6年6月6日

北海道港湾協会会長 蝦名大也